明和九年
夏十月朱了讀終

文化元年
[illegible]

和漢朗詠集巻下

風雅

暁雲

草松

鶴晴

[illegible]

文雄

文雄

竹

[illegible]

下

山付山水　水付漢史　禁中

古京　古宮付後宅　仙家付仙源傳

山家　田舍　漢家

山寺　佛二軍　僧

閑居　晚望　餞別

行旅　度嶺　帝王付注宅

親王付孫　蕭相國付桃　將軍

刺史　諸史　王昭君

妓女　趙女　老人

美女　懷舊　述懷

夢賢　祝　憲

無業　白

雜

風

春風暗覺樹梢偷吹花言

紀納言

入杜鵑礼欲惱明君祝流水不

歸雲道子之家

漢之中秋天清月明

保胤朝臣

班妃裁扇恨秋月

慶滋保胤

わさうせのうきくさとなるか
なのくとわりなしてまし　中務
はきの葉ゝはしてまし月の月かけ　信明
もらしもさわらぬをおろしのかぜ

雲

竹むすぶ湖水の雲の絶ゆ〳〵に
ちぎれる月光の映ぬ〳〵
出雲堂の雲の絶ゆ〳〵に　紀貫之
夜月の雲心ぞ繁　元稹
清水の雲の絶ゆ〳〵に　張讀
清水の雲の絶ゆ〳〵に
陶朱の詩越〳〵の雲　都在中
松の雲の絶ゆ〳〵に　都在中
漢帝の詩の雲の絶ゆ〳〵に　必言
をうまの山の雲のしるゝや　讀人不知

晴

煙消て外青空の雲の行　鄭師冊

嶺盡巌風雲收七百里之外
深帯泉波冷月澄四十尺之餘　藤惟成

雲消翠巖天霽風散淸涼露鏡　都良香

霜鶴皆早枝寒孤帆遲水上浦　菅三品

隴雲鶴林晨見曉霽渡霧羅寒　江以言

いたえくれみよりの空をみはらしけく給
あかつきのなかおりふおもふひとゆふ

曉

佳人盡飾於晨粧　魏宮鐘動
遊子猶行於殘月　函谷鷄鳴　賈嵩

幾行南去之鴈　一片西傾之月
赴征路獨行之子　旅店猶扃
戍孤城百戰之師　胡笳未歇
嚴粧金屋之中　青蛾正畫
罷燕洞房之上　紅燭空殘　謝観

[illegible]
わりのきのみうまうは[illegible]
とうそもひ[illegible]

松

但有叢松尚卯月
[illegible]山有雪積松[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

九月三伏之暑月
[illegible]
十八景霜[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

竹

煙霧霏霏後蕭蕭風枝蘭洲色杳杳
琴絃嘯壑人空月玉笛吹春島栖烏
晉陽兵盡軍旗卷子猷歌罷月徘徊
たそかれの白樂天もゝ高岩戸
遊華亭水鶴風聲招徐孝子
ふるれはこゝにけさくれぬのう
ゑしらしたうのくひとつのう

草

沙頭雨深沈沈夕岡風猛猛秋
雨絶祈雩今何在春風百草頭
孤芳生屋角寂寞滋新溝
蘿徐徐雨過石窟窟秋
芳草晴初遍萬花暗欲空
夢山有雨路行野一無蹤漸漸

かのとりになりとはとはうかりけ
わりつゝも君のさまざまこゝろふかく
れかわゝ我のちりのこりたるおいの身八重之
こまもをさめをうゝ人りかを
屋うたゝもくさハちしうしうをの野を寄
そゝくるかりふまもをうゝ年

鶴

堀少人白鶴高信鶴首家軒忠利夏嶋
ゆゝ宮阪邦家茎結家屋
同李陵ゝ胡仙見異類仙屋白

原ゝ玉壁高人詩酒
李来花ゝ鶴新篇李来家
清猿鶴李杯鶴宅光一樂仙間鶴白
雲花高花高歌老仙屋月明時九列鳥鍋
鶴洋籠高里千金錢ゝ洞千年詩都良春
宮新儀陶安ゝ鶴玉眼
飢龍清水忘乳光鶴ん閑寝眠

下

川漢の三蛮の秋 順二

わかうらよりみちくまハうこと 文人

おくへとちてうきすわるふ

れかそくよりもまこうんもうこみう 伊勢

おそふこうろのわりうきうう邪

わさうをつけ井ろうよわうそうの

みとうろ井ろうこうろうきう 清上

猿

猿霊霜満一声哀 謝觀

已渡秋源不覚猿 紀猿四門

江清已渡初時学猿啼腸腸

三秋猿は雲猿源一叢舟中載病光

胡鴈一聲秋月高客心夢入已 江清明

猿三川暁雲沢人々愁

人猿一種牡村猿猿門家暁雲源

暁渡羅源猿一叢舟中載病光

岩鼠源関山島猿老斜暁猿猿

まひらふまひらふまひらふまひらふまひらふまひらふまひらふまひらふ
ふまのうひうふうふうやはあれ　　右歌

管絃　付舞楽

一聲鳳凰秋月　蓬萊仙人雲裏歌
柏電光紅曉雲　緑山々月

第一第二絃宗　秋風拂花深閣自
第三第四絃　流水清猿啼中島
第五絃琴　桂樹深深月

流水絃琴自鳳凰　蓬萊仙人
於合掌　裁衣婦　張騫同仙一片花
羅綺　管弦　雲裏　衣姫　琴　桂樹婦
管絃之在長曲　怒不関　何人
蓬萊仙人　高唐　打琴　彩雲
桐葉　桃夭　得　琴　仙篇　子細
こゝの　ようを　いつまでとり　　惟高親王
　　賛官丈御

下

文詞 付せ二文

元詞拂拭者落筆衛鈴出源関之感
浮藻連篇之龍門興激流之波
生文三千軸之金玉彩龍門原
上七理骨不埋
言傳之餘韻意
錦帳閑之新
昨日山中之本取法之今日
庭前之花詞題於人
之朗吟兼之孫擯徐蘭之四
紀滝一時之友集花月之文
陳孔璋詞之金玉馬相如賦之清雲
贈寄新興之紙対花雅麗之集世和
いつくりのかきつけはかりとり
そとのくらわらこ

讀人不知

河

新豊湯治に行き、お鄙の家に
宿を求め、神を祭り、典
籍を繙き、風月を愛し、
酒を酌み、仙を慕ひ、清酒を飲
酒を酌み、仙を慕ひ、清酒を飲
白雲三峰酒を飲み、千仞の
陸風物、秋物、酒を飲み、長年人

破屋の如き家に住む、
生計物乏しく、貧困に苦しみ、
業を捨て、商ひ、
家を捨て、場を捨て、
家を捨て、妻を捨て、
破産し、民を困窮に陥れ、
酒を飲み、民を困窮に陥れ、
業を捨て、家を捨て、

酒[illegible]下小村不待[illegible]喜[illegible]　（橘相公）

[illegible]室[illegible]稿[illegible]序[illegible]龍[illegible]風

[illegible]　（後中書王）

[illegible]

わり[illegible]このひきのんかしそことわろつ[illegible]
りゆけもそひてかわとたちて　（躬恒）

山

代[illegible]遁[illegible]跡[illegible]　（賀蘭遂）

[illegible]都山[illegible]　（都在中）

[illegible]龍[illegible]　（後中書王）

[illegible]林頂[illegible]　（以言）

かのこしてやまはみうきをなりけるを
おきひゆふ日のさしそそおもける
[illegible]　（忠岑）

見わたせは松のはしろきよしのやま
いくよつもれる雪にかあるらん　（三盛）

山水

泰山不讓土壤故能成其高
海不歇細流故能成其深

巴猿一叫傷舟樹
公乘億二

胡馬臥明月
白居易

雁回雲山青猿啼江渡
白居易

漁舟少新雪獨釣寒江山
杜甫鶴

山似屏風江如練
李白

草木扶疎春風拂山低雲接天
澄明

蟬噪林逾靜鳥鳴山更幽
河伯

轉蓬獨注水樓花
同

蟹舟多泊煙樹影
同

山遠山仙子月成雲數點
同

水流水漁梁水花溪溪交

山部赤人歌

山末の荒磯の湯殿水門流れ出る

神ぞひろきもろもろの川

水　付海辺

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

渺茫ヌ鶏遊渓水ニ虚度為河
日掛沙洲平孤島帯風驚竿晩 後江相公

水しもをてるふ月乃見んとなかるめる 躬恒

ちりうくふとやをりしりつゝん
見ふりこりきえくくれハ表り代り 伊勢

みなひとをしりかりゆるら 貫之

禁中

鳳池後面新栽竹 龍闕前頭暮雨山 良

休澣貪尋仙洞 [illegible]閑 白

三千仙人誰得聴 含元殿角管絃声

鶏人暁唱声驚明王之眠 鳧鐘夜鳴響徹暗天之聴 都良香

[illegible]作日高 [illegible]

見んりさくらの [illegible] 中務

あまりかれはりさやけきおかれの月
やのうへよそおりひやらかき 原経臣

古京

甕頭竹葉経春熟　階底薔薇入夏開

いそのかミふるきミやこをきてミれハ　むかしかさしゝはなさきにけり

[illegible]　付[illegible]

[illegible]　公乗億

[illegible]　白

[illegible]

[illegible]　帝

[illegible]　良春道

[illegible]　源英明

[illegible]　三善宰相

[illegible]

[illegible]　月のさかりも秋[illegible]

仙家　付全真源倫

雲中夫地乾坤外　蓬萊世界日月長
藥爐煙消丹竈冷　仙鶴一去不還來
山底採藥雲深處　水邊釣魚月明時
三靈雲浮七万里　五湖風波八千里
家住十二樓五城　年年春來花開日

春大風花落紅桃　流水流出桃花
鶯風搖葉香不散　樹深人靜鳥聲
深入仙家雖入門　不見仙人問
歸鶴雲生絶塵　七孫
丹竈乃成仙藥出　中家門月
石床面洞前花　松葉拂苔
桃李花開春雨　雁來

[illegible]

高山[illegible]

[illegible]

通夏[illegible]

[illegible]

いそのうれをあらの麻

山家

[illegible]

[illegible]

漢文晩[illegible]

[illegible]

紅[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

之地栄雪白露道をたどる推古
山路月雲満耳に聞く遠牧笛の聲 紀友則
洞戸鳥歸る夕暮に
花を見て文を思ふ洞戸梅の香 都良香
晴れたる山路鶯に初日水入門流
鶯春を告げ梅花衛嶺に春一
山里はものさびしかりけるかなと 直幹
ものうきまちはなりけり 讀人知

山さとはものそはしけれさびしさに
人めとまれもとはぬとおもへば 宗金

田家

若草繰水抽つ田打鍬 白
ちるを一人畑に鍬休 都良香
野鳥鳴く村雨の中の田植笠 紀貫之
黄昏や蛍流れて籠を出 高浜虚子
くるひとつ田を人うしまとせてもれる
くるひとつ田を人うしまとせてもれる

かときつはさらへをてうたいぬへし
わかれしもなくはさくらをりきをも 貫之
きみかふきさらんとかしかいりのまん
つらなふそよそうそわきうをのこ 敏行

隣家

明月好同三径夜緑楊宜作両家春 白
何獨終身數相見子孫長作隔牆人 同
地[illegible]分[illegible]色伊人[illegible]窓[illegible]上[illegible] 菅三品
[illegible]枕[illegible]家[illegible]竹[illegible]樹[illegible] 同
春[illegible]邊[illegible]花[illegible]池[illegible]樹[illegible]家 直幹

きみかやとわかやとわけるくれたけは
うつろふこゝろまふらむ人 伊勢

山寺

千株松下雙峰寺一葉舟中萬里身 白
更無俗物當人眼但有泉聲洗我心 白
不改朝天之門渡[illegible]駐車之[illegible] 都相公
閑[illegible]之樓[illegible]之金

[illegible]馬来昔兵恩風[illegible]可[illegible]
[illegible]仏法[illegible]仏[illegible]世俗[illegible]
人[illegible]為[illegible]出[illegible]誘門[illegible]
三[illegible]世[illegible]服[illegible]十二因縁[illegible]裏宮
[illegible]西[illegible]両[illegible]業[illegible]風[illegible]相状
[illegible]
[illegible]
[illegible]

花山院

仏事

月[illegible]山[illegible]扇[illegible]風[illegible]
大[illegible]動樹[illegible]
[illegible]今世俗文字[illegible]
[illegible]漢[illegible]為[illegible]来世[illegible]
[illegible]国[illegible]法[illegible]輪[illegible]
百千万劫[illegible]十二[illegible]

十方佛ちの中に西方の淨土
九品蓮臺の同雖下不至上
雖十惡等の輩も
投西方一人念佛必往生
除之巨海之網消罪
苦切利天之安居九十日刹
非梅檀白栴檀
之城度二子清淨蓮花
浪洗名消報仏馬命
打易彼岡草葉命長
念極樂之一夜山月西光
句出之云三朝洞花欲暮
聖衆恩德菅秋綱教信代侍
服蓮華清淨源水面月長夜

以佛神通爭酌尽 經僧祇劫欲知誰　以言

叩頭頂禮寒省月 捨指摘掌爲我心　保胤

已結來世年後縁 得道一念之（同）

いつくとも所もさためぬしらくもの わかさとはかりしるへにそなる　村上御製

ひとたひもなむあみたふといふひとの はちすのうへにのほらぬはなし　空也上人

このよにてきみをみきとしりぬれは いつかいのちのをはりなりけん　九條右相府

阿耨多羅三藐三菩提の佛たち わかたつそまに冥加あらせたまへ　傳教大師

僧

蒼茫霧雨之霽初 寒汀鷺立 重疊煙嵐之斷處 晩寺僧歸　張讀

野寺訪僧歸帶月 芳林携友醉眠花　英明

寒有母儀並遁世 道當釋子出天之月　保胤

家有行遊連德徳 身不出世之雲

明鏡不開塵埃照 里雲不離下山來　菅相公

紀氏浄侯賀月之老高侯首到
鶴岡廻廊多年宮侯眉生八字
さゝらなみ　さゝなみ　もゝしき　もゝしき
まつらうらとあそびやわらぎん　遍照
よもすがらのうらのなみ
たちひろへといつくしてまし　讀人不知
ときはのきしたるなりまさりたる
つゝらをたゝまよさゝやまゝ　文實

岡屋

不相記東都厳道宣自岡屋春

遍之度之人合紀貫大和國ゝ
理世安樂ゝく育
宮車一ヒ主播磨ゝ
際野邊遊待羅
無思不行源英ニ
ゝ月ゝ時

張讀ヒ
ゝ暗老リ
ゝ
ゝ

今日宗雅周邊秋林下幽蘭乱保保
宮殿自ヒ元長劫世事後今ハ不言
蕙草蘿去抽籍於北山小蘭
梧桂械敲於東海之東
都府楼看万重秋雲独落落
聴法華徒言僧正行
西門絶春朝雨霧多霞如彩霧
ウヤしはみらをあまくあまるよりつとうの人とまつとも勝しまし
雖
風飛白波花字所成字天字一行
学ぶ園の東の梅山春半抽ぬ花暗
蹄茶碗の面顧家淵底樹深
見天宮山高立高雲
長安城の東西樹の子方言葉ヲ

泥濘蒲團の煙草盆の火鉢を前に
一行斜に雪を踏て
老眼昏迷の我目に春信の新板の
とわるさは屠る
きさらぎとこそ
やこそそろれ
ゆきまりけ

後別

与謝蕪村の俳諧の
前金を思ひ
後江有公

後金剛の空霞
海棠の
男鹿丹島
今信濃
揚げ
俗
俗
俗

海棠に暁の
月
順一

十六年に同
三百
年
孟

俗
俗
俗

万事
九枝

秋深き朝の食堂順徳院御歌

やまとにしやふるさとうつしかなしきかな　直勝

すみなれしうらんの一ふしをわすれとも

ことしとなりぬれはなつかしきかな　元真

人うとくなりぬるかとしをしるいのちをしらぬ

ものとしりぬれはなつかしきかな　同

鈴掛

鈴鹿宿時風雨

鈴鹿川雨降山を越えくれは

晴れて三重の明神の前　順光

許渾

暁入長松寺洞裏猿鳴

秋宿松浦寺風吹月照

月照

後江相公

清詩

秋風蘆花

河畔蘆花秋風吹

蘆花深処雁一声　同

やかくとわすれうしなひ　允
まとろくやそしまかあくこきあわ
人をはつけよわ　皇
たうまあいいそ
そうらうのせきはあえぬと　三盛

庚中

年長毎労接ス諸侯ニ屋中ヲ
之間ニ接ス賓客ニ屋中ニ
相ヲ
わすれうのえうかうるさきはりうれ
わうやうたちやうたあり

いうたうとひうとうとう
れをうわおうのえうふまうきと

帝王

漢高三尺之劒當ル諸侯ニ張良　後漢書史カ
一卷之書ハ乞ル師傅ニ
頃ハ仕ル會稽門寡ニ青ニ於一産家ニ　同
漢祖ル歸ニ沛ニ傷恩ニ思ニ霧風ニ
四海安ニ照ル澤ニ百王理ル亂ニ忘ル中ニ　白二

幸二条院崩御後
生涯自在也生涯
仁源秋津洲之外
閑窓作詩之
愛之頑涯之満耳
深之青接春之月
新之白雲欲歸

同

宣二品

命改之庭風
無之歌之蛍
無之老之地也
光千蛍蛍無
業祐朝之歌
皇南禮之
公長月隆文鳳
刑殺浦打

同

後江相公

藤原ノカル

江相公カ

たまかつらいはとうえとちりぬまてもとうふるさとのちはるのもり　大鶴鶏天皇
ちりぬまてもとうふるさとのちはるのもり　小松天皇

親王　付王孫

庫車物輦貴公高新羅高麗白
東平蓋之雅量寧非屋宅
菱之第式侯陽鑠之文譚紫色奇
帝寵愛第八之題

江都之好勁據七尺屏風其流順
淮南之求神仙一日紫雲之至
岡巷已知富士道秋風慢望斯湖之
秋之暮紅葉の花の錦
山雨雅美之間樹樹須臾之花　後江相公
紫電秋光之高樓百尺新月　菅三品
いとはやとうんのとうはのうはうら　達ア
日くれやきのうふいまもれ

宰相 付執政

季文子妾不衣帛馬不食粟人以為忠 後漢書
公孫弘身服布被以矯儀天下
百里奚乞食於道路繆公委之以政 同文
寗戚飯牛於車下桓公任以國
殷宗閤夢無圖君傅説舟作霖人 後江相公
西京之帝門乃是陳丞相之舊宅

南山之澗亭也是司徒之幽栖 菅三品
周公旦者文王之子武王之弟自
知其貴忠仁立于皇帝之祖
皇后之父者推之仁
傅氏巌之崗雖風雲於于殷 同
鄴灘之水雖聖渭於漢之初
春過關東司徒之宗家岩在之道 同

月南宮の鄭重に
やまとうたあるそなたとこたへ
はかちうへくもくもあるまふ

将軍

三尺剣さえ光をはなつ
雲中数騎朝霧を分て
多賀清業[許渾]
陣中年難別故人[管三吊]
酔山雲陣雪将軍
[illegible]

同美仕
徳川屏風
雪柳藤角逆
雄剣三腰授
自白吟亦寒
地雪剣新
[illegible]

判史

古今集序下に文和年中に撰ばれ
精の合浦珠おのづから明らかに
淫の二首の言葉色深くして
山一面白雲の中に隠れ
たり哀れなるのみにあらず
ここのかさねはあるべきなり

仁德天皇

源氏

惟喬親王の御民源氏
家の物語に
伝の言葉に
かそいろいろわ
みをうらうらの
あるべきなり

紀在昌

紀納言

紀納言

橘潔

主殿寮

結喜亭勤仕將軍と
既に仕ふ加持
[illegible]

[illegible]

[illegible] 江相公

[illegible] 同

[illegible] 同夕

[illegible] 同

[illegible] 英明

[illegible] 寛方

[illegible]

[illegible]

[illegible] 元禄ヲ

[illegible] 白

[illegible] 日

[illegible] 野相公

[illegible]

[illegible]

[illegible]　後江相公

あまつかせくものかよひちふきとちよ
をとめのすかたしはしとゝめん　良岑宗貞

遊女

[illegible]

翠帳紅閨、万事之礼法雖異、
舟中浪上、一生之歓会是同

和琴緩調臨潭月、唐櫓高推入水煙

老人

海余

海をへだてゝ[illegible]新[illegible]
[illegible]
いけるうゝ[illegible]
[illegible]

朝福

春興

交友

琴[illegible]酒[illegible]抱[illegible]書月花時獨惜君
陽[illegible]雨[illegible]雖[illegible]流水[illegible]光[illegible]
[illegible]年[illegible][illegible]今[illegible]君[illegible]
蘭[illegible]書[illegible][illegible]紙[illegible]

洋蘭

[illegible]

[illegible]僕[illegible]新[illegible]推[illegible]
[illegible]文[illegible]常[illegible]孤[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

村上御製

[illegible]

興風

懷舊

黄[illegible]雖[illegible]須獨惜君唯
將[illegible]年[illegible]一[illegible]故人之

長和五年猿丸我歌何
秋風高秋深草下枯人多
世の哀花の盛の雲霧の
籠の籠の籠の籠の籠の
金谷研花の花の春匂ふ海
南樹数月の人月与秋朝日何
三十番の鼻仙人の洞の波瀾

三月三日傳の早世行年
源於渕山の雲
俊頼朝臣不堪歌
いかにせんの歌中の
りしのうらとしむ
ひとりとはうらとれ
おやしもめおを
まのかよおまま
ものさくはりをす

述懐

村上御製

重長歌ス

源用頼ノ

管三品ノ

書誌荆州ゴトク 後漢書更始傳之カ 激怒生殺之
投死ル人為因使命ハ流涕流血
花蜜収貴匂踐家扁舟ニ於又湖
皆花謝飛文ヲ三ヲ逸巡杜河上ニ
歌其磯礫不顧沙渚者不知文選
藻彩不播習其聲色不犯上
邪未知英雄之所暗

人間禍福難測世上風波考ヘ難
車馬塡街駕高官ハ高官ハ
事ニ無成身老碧山ノ
花蜜収貴拝扁舟ヲ地名謝安禅
山伏孤雲ヲ白雲志
羅敷色外之華道傍骨ハ高
山踏雪ノ雲高士ヲ天下ヲ

白首遍屬鑿壁閣之下
齢亜顔駟過三代而猶沈恨同伯
鸞歌五噫而将去　江匡衡
言下暗生消骨火咲中偸鋭刻人刀　春道
載兒一車伯道喪妻三渡米家泥　前中書王
壁三間破繼何豈同鉛朱之賢　橘倚平
うふとても身のいたつらにいつまてか
よのうきことはなれつらん　讀人不知

よの中はとてもかくてもおなし事
みやもわらやもはてしなけれは　蝉丸
かくはかりへかたくみゆるよの中に
うらやましくもすめる月かな　藤原高光

慶賀

劔佩晩趨金鳳闕旌旗遥着雲　白
識瑰玉潤三千里一道風光經義着　暗孝標
魏文南諸侯君殺樺子孫之
吏部侍郎職中書紫微　匡衡

御重臣腰底諸士濃縁鶴之間詰衆

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

祝

嘉長人今月諸[illegible]歳[illegible]

[illegible]

わかうらんいろのせうしやちらふされてのいとかしとうりくこをのひをまそしろりもせとみさのやさをよりふたなふわえうしさそのうさ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

り又見宿[illegible]之秋[illegible]　白

春風桃李花開日　秋露梧桐葉落時　同

夕殿螢飛思悄然　秋燈挑盡未能眠　同

書[illegible]難付寒温[illegible]東[illegible]
涙[illegible]空[illegible]望於暁月　後江相公

[illegible]閨中[illegible]君[illegible]一枝[illegible]　紀斉名

寒園[illegible]無[illegible]更[illegible]尚[illegible]　[illegible]

[illegible]渡[illegible]提[illegible]　[illegible]

わか恋はゆくゑもしらすはてもなし
あふをかきりとおもふはかりそ　躬恒

たのめつゝこぬよあまたになりぬれは
またしとおもふそまつにまされる　仝

いまこんといひしはかりになかつきの
ありあけの月をまちいてつるかな　素性

無常

觀身岸額離根草　論命江頭不繋舟　羅維

蝸牛角上爭何事　石火光中寄此身　白

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆきかくしめの花ある

和漢朗詠集巻之下

延寶八甲寅年九月吉日

開板

毎月村
指立仕候
赤沼村
[illegible]
[illegible]

文明五年
文化四年

[illegible]

文化元年

赤沢の村

信濃清